

# 令和元年 8 月総務企画委員会 議事概要

R1.9.18 作成

日 時：令和元年 8 月 21 日（水） 18：00～19：00

会 場：建築士会会議室

出 席：

（常任理事兼委員長）芝 京子

（副委員長）山成 芳直

（委 員）伊藤 誠一、木村 弘一、玉野 直美、沼田 有二、畠 宏好、村島 正章、  
八重野みどり

オブザーバー：長田副会長、宮林専務理事

## < 確 認 事 項 >

### 1 前回(7/17)議事録の確認 【資料1】

- ・神奈川大学の「高・大連携プロジェクト」の表記が「工・大」と誤っていることの指摘あり、修正することとして承認。

## < 協 議 ・ 報 告 事 項 >

### 1 「建築士の集い（交流会）」について【資料2】

- ・8/14、横須賀で開かれた支部長連絡会議に出席した委員長から、会議の様子の報告。  
各支部長の率直な感想は、「支部主催で実施するのは大変なこと」「支部の周年行事と合わせて開催する方法も、大変なことには変わりがない」「本会主導で実施してほしい」というもの。

（質疑）

（副委員長）・各支部の負担感は、想定どおり強い、ということか。

（専務）・「本会主導」となれば「本会の誰が？」が問題になる。それも含めて検討していくことかどうか。

（委員長）・当面、本会において検討することとし、（当委員会での検討結果等を）正副常任理事会に提案していきたい。

（委員）・やりたいところが実施すればよいのではないか。また、定例的な開催にこだわるのではなく、例えば 70 周年行事との抱き合わせ実施も考えられる。いずれにせよ 9～10 月にかけて、来年度の予算編成の前段として、集い実施の意向の有無を各委員か等に確認してはどうか。

- ・会員増強に関係するという理由で、役割を活性化特別委員会に振ってしまうのは、問題があると思う。

（副委員長）・第 10 回、H24 の中支部開催の頃から、支部の負担感が強まっていったように記憶する。中支部の時は、福祉部会も頑張ってくれたが。

（委員）・支部や委員会に主催させるのではなく、本会執行部が責任をもって実施する形をとるべきだ。

（委員）・確かに単独の支部や委員会が開催主体となることは、辛いものがある。ただ最近の諸行事（免許交付式・施設見学会など）では、開催業務を分解して複数の委員会や支部に分担してもらうなど、横断的なやり方が定着しつつあると思う。

### 2 熱闘建築甲子園の進め方について【資料3】

- ・宮林専務から、今年度の実施状況及び講座を担当した子ども部会からの報告を紹介。

（質疑）

（委員）・今年の参加生徒は少数だが、けっこう真摯に取り組んでいたとの印象。

- ・学校へのアプローチは、一工夫が必要と思う。
  - ・コンペへの作品提出よりは、インターンシップや制作講座におけるコミュニケーションの方に重点を置いてはどうか。コンペの審査手間も馬鹿にならない。
- (委員)・前回紹介された新潟の「地元就業促進型」の取り組みには、神奈川でそうした必要性があるのかコメントしたが、神奈川・横浜ならではの学校連携のあり方は存在すると思う。
- ・そうした議論を促す意味でも、SALON に生徒の作品も含めて取り組みを紹介したり、各委員会メンバーが母校訪問を行うといった動きが必要では？

### 3 令和2年新春賀詞交歓会について【資料4】

- ・開催日に関する事務局提案のうち、第一候補の1/28(火)に決定した(なお、第四候補の1/30は川崎支部の定期講習開催とバッティング)。場所は例年のナビオス横浜。

### 4 その他

- ・一級製図試験施設見学会の準備状況を担当委員から報告。
- ・活性化特別委員会の検討状況について、参加委員から報告。
  - ・活性化部会と会員増強部会にわけていたが、合同で検討を進めることとした
  - ・当面の優先課題は「委員会再編」とした
- ・R2年の当委員会開催日程を1/15、2/19、3/18とした。